

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	後期				
科目名	教育課程論	授業形態	講義	単位数	2 単位				
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無		○					
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年、山形県小学校9年、国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援、学生支援)2年、私大教員養成学部 of 教育研究職助手5年								
授業のねらい (到達目標)	実践的指導力を有する教員としての資質を高められるように、基礎的な知識習得と教育現況をつかめるようにする。								
授業概要	①教育方法の定義と意義 範囲 ②教育方法の歴史 ③教育技術と情報機器活用 ④教育方法の手段(教具と教材) ⑤児童側に立った教育方法の特徴 ⑥授業分析と授業展開 ⑦幼小の接続 ⑧指導計画作成								
テキスト	豊岡短期大学「教育方法論」								
授業計画	第1回	教育課程の意義							
	第2回	教育課程の役割							
	第3回	教育課程編成の手順と方法							
	第4回	教育課程編成の手順と方法(幼稚園)							
	第5回	教育課程と法							
	第6回	教育課程編成と計画							
	第7回	教育課程編成と計画							
	第8回	教育課程編成と計画							
	第9回	教育課程実施上の配慮事項							
	第10回	指導計画の作成演習							
	第11回	指導計画の作成演習							
	第12回	幼稚園幼児指導要録							
	第13回	諸外国の教育課程							
	第14回	諸外国の教育課程							
	第15回	まとめ							
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施		授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度					50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する								

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	後期				
科目名	教育方法論	授業形態	講義	単位数	2 単位				
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無		○					
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年、山形県小学校9年、国立大大学及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援、学生支援)2年、私大教員養成学部の教育研究職助手5年								
授業のねらい (到達目標)	実践的指導力を有する教員としての資質を高められるように、基礎的な知識習得と教育現況をつかめるようにする。								
授業概要	①教育方法の定義と意義 範囲 ②教育方法の歴史 ③教育技術と情報機器活用 ④教育方法の手段(教具と教材) ⑤児童側に立った教育方法の特徴 ⑥授業分析と授業展開 ⑦幼小の接続 ⑧指導計画作成								
テキスト	豊岡短期大学「教育方法論」								
授業計画	第1回	教育方法とは何か							
	第2回	教育方法の歴史							
	第3回	教育方法の手段, 手立て							
	第4回	教育技術(教具・教材・板書)							
	第5回	情報活用機器							
	第6回	幼小の接続							
	第7回	幼小の接続							
	第8回	園児・児童側に立つ教育方法							
	第9回	園児・児童側に立つ教育方法							
	第10回	記録と評価							
	第11回	記録と評価							
	第12回	記録と評価							
	第13回	記録と評価							
	第14回	記録と評価							
	第15回	まとめ							
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施		授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度					50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する								

総合評価
算出基準

期末	中間	平常	出欠
50%	25%	10%	15%

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)
科目名	保育実習Ⅰ	授業形態	実習	単位数	4単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育所、幼稚園、小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	●実習生の姿勢態度 ・園や施設の方針を理解した上で適切に行動する ・目標を明確にし、向上心を持ち、実践的に学びを積むことが出来る ●知識、技能 ・保育内容に合った教材準備や環境構成ができる(部分実習及び責任実習準備の充実) ・生活・遊びを促すための援助(かかわり)ができる ●実習記録 ・乳幼児とのかかわりから保育士の意図を感じ取り学びや気づきを書くことが出来る ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる ・子どもの姿を場面で捉え、それを「乳幼児理解」につなげることができる ●指導案 ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる(部分、責任) ●提出物 ・約束期日を守り、計画的にすすめる				
授業概要	●子どもとのかかわりを深めながら観察し、保育理念や保育の課程をおさえ、保育士の職務を理解できるようにする ●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする				
単位認定 ・ 評価方法	実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づく)、及び実習日誌を総合して評価をする。 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する。				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科		実施学年	2学年	開講期	通年(前期)		
科目名	こどもの指導法「音楽表現」基礎演習Ⅱ		授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	川内菜央・寺内めぐみ・市嶋融介		実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。							
授業のねらい (到達目標)	音を間違わず、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。							
授業概要	こどもの指導法「音楽表現」基礎演習Ⅰで身に付けた演奏技術を更に向上させる。また、保育実習や幼稚園での教育実習に向けて実践的な取り組みを行う。							
テキスト	「こどもの指導法『音楽表現』」「ブルクミュラー25の練習曲」「保育の四季 幼児の歌110曲集」							
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第8回	中間試験						
	第9回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第10回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第11回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第12回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第13回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第14回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第15回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席			総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科		実施学年	2学年	開講期	通年(後期)		
科目名	こどもの指導法「音楽表現」基礎演習Ⅱ		授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	川内菜央・寺内めぐみ・市嶋融介		実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスを行っている。							
授業のねらい (到達目標)	音を間違う、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。							
授業概要	こどもの指導法「音楽表現」基礎演習Ⅰで身に付けた演奏技術を更に向上させる。また、保育実習や幼稚園での教育実習に向けて実践的な取り組みを行う。							
テキスト	「こどもの指導法『音楽表現』」「ブルクミュラー25の練習曲」「保育の四季 幼児の歌110曲集」							
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第8回	中間試験						
	第9回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第10回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第11回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第12回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第13回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第14回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
	第15回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。						
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席			総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	こどもと造形	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	渡邊 恵美	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	高等学校美術科非常勤講師						
授業のねらい (到達目標)	乳幼児造形教育の指導・援助者として、必要な形や色や質感等の基礎的な知識及び技能について理解ができる。 えがく、つくる、造形あそびの領域の製作を通して、基礎的な知識及び技能について習得できる。 教材研究及び発表を行うことで思考力や表現力を高めることができる。						
授業概要	幼児造形の指導・援助者として形や色等の造形の基本的な理論を学習しながら、実際にそれらについてテーマをもとに色彩分割及び構成学習を行う。また、具体的な描写によって観察力を養い、合わせて用具や描画材の特性を利用してさまざまな表現技法から想像力を高め、体験的に理解する。さらに、さまざまな素材をもとに、それらの特性を活かして創意工夫しながら製作を展開し、平面及び立体における造形教育に必要な知識や技術を身につける。						
テキスト	造形表現論(豊岡短期大学)						
授業計画	第1回	幼児造形教育の重要性と研究の視点について					
	第2回	幼児造形(表現)の特徴・領域・道筋について					
	第3回	えがく領域に伴う製作I(えがく活動における指導・援助と実際)					
	第4回	えがく領域に伴う製作I(えがく活動における指導・援助と実際)					
	第5回	つくる領域に伴う製作I(つくる活動における指導・援助と実際)					
	第6回	つくる領域に伴う製作I(つくる活動における指導・援助と実際)					
	第7回	造形あそびの領域に伴う製作III(造形遊びにおける指導・援助と実際)					
	第8回	造形あそびの領域に伴う製作III(造形遊びにおける指導・援助と実際)					
	第9回	作品の研究及び発表					
	第10回	作品の研究及び発表					
	第11回	作品の研究及び発表					
	第12回	作品の研究及び発表					
	第13回	作品の研究及び発表					
	第14回	幼児造形教育の課題について					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施		授業時数の2/3以上の出席				
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
			50%	25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科		実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	社会的養護Ⅱ		授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	渡邊 みゆき		実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。							
授業のねらい (到達目標)	「社会的養護Ⅰ」で学んだ社会的養護の基礎的内容について具体的に理解する。 施設養護及び家庭養護の実践について理解する。 社会的養護における虐待防止と家庭支援について理解する。							
授業概要	スクーリングによる体験的な授業で、主としてコミュニケーション力、リーダーシップなど必要な技術とネットワーク運営のための技術を身につける。							
テキスト								
授業計画	第1回	オリエンテーション						
	第2回	子どもの最善の利益、意見表明権、子どもの権利を守る仕組み(演習)						
	第3回	資質と倫理(演習)						
	第4回	施設養護の体系						
	第5回	児童養護施設(演習)						
	第6回	乳児院(演習)						
	第7回	母子生活支援施設(演習)						
	第8回	障害児入所施設(演習)						
	第9回	児童自立支援施設(演習)						
	第10回	児童心理治療施設(演習)						
	第11回	家庭養護・家庭的養護の体系						
	第12回	里親(演習)						
	第13回	地域小規模児童養護施設(演習)						
	第14回	社会的養護の現状と課題						
	第15回	まとめ						
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席			総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	こどもの食と栄養	授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	萱場 佳代	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	企業での調乳・離乳食指導、特定保健指導、母親教室、料理教室講師 新潟市 母子保健事業、特定保健指導、学校等での出張授業講師 他						
授業のねらい (到達目標)	子どもの身体の特徴を理解し、小児期に必要な栄養・食生活の重要性と、それぞれの時期に応じた食事の知識を習得し、食育につなげていけるものとする。						
授業概要	基本的な栄養・食生活の知識を学ぶ。 離乳食から幼児期への子どもの発育発達と、それぞれの時期に応じた栄養補給、食事の知識を学ぶ。 食育の重要性を学び、子どもたちへの伝えかたを考える。 実際に調整粉乳、離乳食、幼児食の調理を行い、形態や味を確認する。 乳幼児期における食物アレルギーについて学ぶ。						
テキスト	「こどもの食と栄養」豊岡短期大学						
授業計画	第1回	栄養に関する基礎知識(五大栄養素の体内での働き)					
	第2回	ビタミン・ミネラルの種類・働き・食品					
	第3回	母乳栄養(初乳・長所・短所・母乳不足)					
	第4回	人工栄養(調整粉乳・フォローアップミルク・特殊ミルク)					
	第5回	離乳の定義、離乳食の進め方と注意点					
	第6回	幼児期の栄養・食生活					
	第7回	間食の必要性和与え方					
	第8回	幼児期の栄養・食生活上の問題と対応					
	第9回	乳幼児期の食物アレルギー					
	第10回	食育の必要性(ねらいと内容)					
	第11回	食育の実践					
	第12回	実習(調乳・離乳食の調理)					
	第13回	実習(幼児食の調理)					
	第14回	実習(間食の調理)					
	第15回	まとめ 期末試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	こどもの指導法「環境」	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 領域「環境」のねらいと内容を理解する。 2. 子どもを取り巻く様々な環境を理解し、関心を持つ。 3. 保育者の役割を常に考え、保育実践力を身につける。						
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学びながら、保育に必要な基礎専門知識を得る。 子どもの発達における環境とのかかわりの重要性を学びながら、保育の環境や環境構成のあり方について理解する。						
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 環境						
授業計画	第1回	環境とは何か？ 環境の定義					
	第2回	環境とは何か？ 子どもを取り巻く環境の変化を知る					
	第3回	領域「環境」の理解 ねらいと内容					
	第4回	領域「環境」の理解 環境を通して行う保育					
	第5回	環境の構成 教師の願いを込める					
	第6回	環境の構成 身近な環境の構成					
	第7回	環境の構成 季節や地域の行事					
	第8回	環境の構成 好奇心・探究心を育てる環境					
	第9回	園での実際の環境構成(映像学習)①					
	第10回	園での実際の環境構成(映像学習)②					
	第11回	園での実際の環境構成(映像学習)③					
	第12回	保育者の存在 人的環境の重要性					
	第13回	標識・文字、数量・図形との出会い					
	第14回	ねらいを達成するための環境構成の工夫(校外学習計画)					
	第15回	校外学習					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	こどもの指導法「言語表現」	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 保育内容の領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 2. 保育現場における児童文化財の重要性を考え理解し、保育士・幼稚園教諭に求められる専門知識技術・言語表現力を高める。 3. 幼児の発達や学びの過程を理解するとともに、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した模擬保育の実施とその振り返りを通して、保育を実践する力を身に付ける。						
授業概要	自己紹介絵本作成を通して、児童文化財への理解を深めると共に、制作技術の向上を図る。 絵本の読み聞かせを通して、自身の保育観に沿った絵本選びを行い、実践的な技術を習得する。 以上2点を通して、保育観の醸成、自己分析を行う。						
テキスト	ことばと表現力を育む児童文化〈第2版〉 萌文書林						
授業計画	第1回	授業の目的と概要 領域「言葉」の内容の確認					
	第2回	子どもの言葉を育むさまざまな児童文化財 様々な絵本の種類 子どもの発達に合わせた絵本の選び方					
	第3回	ことばの発達と遊び いろいろなことば遊び					
	第4回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第5回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第6回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第7回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第8回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第9回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第10回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第11回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第12回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第13回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第14回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第15回	まとめ 児童文化財を生かしたさまざまな保育実践 児童文化財を生かした保育の展開					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)		
科目名	実習指導ⅡⅢ	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	・実習に向けての基本的な心構えを理解したり、施設について理解する。 ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認して自分なりに立てる。 ・実習の振り返りをして課題や反省点をみつけ次に繋げる。 ・見通しをもち場面に対応して動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。						
授業概要	・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省 課題を見つげながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。						
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園こども園実習)・前年度配布プリント等						
授業計画	第1回	ファイルの綴じ方や表紙の書き方を確認する					
	第2回	実習日誌の書き方確認					
	第3回	実習日誌の書き方確認					
	第4回	こどもっと実習準備①					
	第5回	こどもっと実習準備②					
	第6回	こどもっと実習準備③					
	第7回	こどもっと実習準備④ 保育所実習の準備をする					
	第8回	こどもっと実習の振り返りをする 保育所実習の準備をする①					
	第9回	保育所実習の準備をする② オリエンテーションについて					
	第10回	保育所実習の準備をする③ 実習ファイルについて					
	第11回	保育所実習の準備をする③ 実習ファイルについて					
	第12回	保育所実習の準備をする④					
	第13回	保育所実習の準備をする⑤					
	第14回	保育所実習の振り返りをする 施設実習のめあてを立てる					
	第15回	施設実習の準備をする①福祉施設の実習の意義を考える					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)		
科目名	実習指導ⅡⅢ	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を」行う						
授業のねらい (到達目標)	・実習に向けての基本的な心構えを理解したり、幼稚園実習について理解する。 ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認し、多方面から「活動」を考える。 ・実習の振り返りをその都度行い、課題や反省点を明確にし次の実習に繋げる。 ・見通しをもち、臨機応変に動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。						
授業概要	・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。						
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園こども園実習)・前年度配布プリント等						
授業計画	第1回	保育実習Ⅰの振り返りをする					
	第2回	保育実習Ⅰの振り返りをする					
	第3回	保育所実習のエピソードをまとめ、次の実習の課題を明確にする					
	第4回	保育所実習のエピソードをまとめ、次の実習の課題を明確にする					
	第5回	事例検討①					
	第6回	事例検討②					
	第7回	施設実習の準備 実習記録について考える①					
	第8回	施設実習の準備 実習記録について考える②					
	第9回	施設実習の準備 実習記録について考える③					
	第10回	施設実習の準備 指導案の立て方④					
	第11回	施設実習の準備 指導案の立て方⑤					
	第12回	保育実習Ⅰ(施設実習)の振り返りをする。					
	第13回	責任実習の立て方について					
	第14回	責任実習の立て方について					
	第15回	責任実習の立て方について					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)		
科目名	情報処理Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。						
授業概要	Excel2019を用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。 MOS Excel2019 検定合格を目指す。						
テキスト	Excel2019セミナーテキスト基礎・Excel2019対策テキスト&問題集						
授業計画	第1回	本演習のガイダンス、ネットワーク接続、プリンタ設定 Excelの基本操作					
	第2回	表の作成					
	第3回	四則演算と関数1					
	第4回	四則演算と関数2					
	第5回	表の編集1					
	第6回	表の編集2					
	第7回	ワークシートやブックの管理1					
	第8回	ワークシートやブックの管理2					
	第9回	ワークシートやブックの管理3					
	第10回	セルやセル範囲のデータ管理1					
	第11回	セルやセル範囲のデータ管理2					
	第12回	セルやセル範囲のデータ管理3					
	第13回	数式や関数を使用した演算の実行1					
	第14回	数式や関数を使用した演算の実行2					
	第15回	数式や関数を使用した演算の実行3					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)		
科目名	情報処理Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。						
授業概要	Excel2019を用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。 MOS Excel2019 検定合格を目指す。						
テキスト	Excel2019セミナーテキスト基礎・Excel2019対策テキスト&問題集						
授業計画	第1回	テーブルとテーブルのデータの管理1					
	第2回	テーブルとテーブルのデータの管理2					
	第3回	テーブルとテーブルのデータの管理3					
	第4回	グラフの管理1					
	第5回	グラフの管理2					
	第6回	模擬1(演習)					
	第7回	模擬1(テスト)					
	第8回	模擬2(演習)					
	第9回	模擬2(テスト)					
	第10回	模擬3(演習)					
	第11回	模擬3(テスト)					
	第12回	模擬4(演習)					
	第13回	模擬4(テスト)					
	第14回	模擬5(演習)					
	第15回	模擬5(テスト)					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施		授業時数の2/3以上の出席				
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する			50%	25%	10%	15%

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)		
科目名	教材研究Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	阿部裕子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立、私立保育園及び認定こども園での24年の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行う						
授業のねらい (到達目標)	素材の活かし方・制作手順の要領を良くする方法など、学び合いながら習得していく 実際に子どもたちとする時の配慮点などを考えながら、制作技術やあそびの習得を目指す						
授業概要	素材の活かし方・制作手順の要領を良くする方法など、実際にやりながら学び合う 様々な科学あそび・自然関連について体験し考える 年齢別の対象を配慮しながら、丁寧にグッズを作ったり演じたりして見せ合う 実習に備え、あそびのレパートリーを増やし使える手あそび等も充実させていく						
テキスト	「すきま時間あそび107」&必要に応じてプリント						
授業計画	第1回	校外学習(東公園) 春を感じる・シャボン玉あそびをする					
	第2回	前年度に作成途中だった「くつしたパペット」を完成させる					
	第3回	制作の教材研究 様々な素材や制作の裏技について理解を深めるとともに、子どもたちと制作をする時の留意点などを確認する 例:同じ形を沢山作る時の工夫など					
	第4回	手袋シアター制作					
	第5回	〃					
	第6回	〃					
	第7回	仕上げと発表					
	第8回	前年度に完成させたパネルシアターの発表と改善点を話し合う					
	第9回	乳児・幼児年齢別グッズ制作 作りたいものを考えて作る (カードシアター、スケッチブック、ペープサートなど題材自由)					
	第10回	〃					
	第11回	〃					
	第12回	完成したものを実演し合う					
	第13回	テキスト「すきま時間あそび107」より素話他					
	第14回	〃					
	第15回	施設実習について					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)		
科目名	教材研究Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	阿部裕子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立、私立保育園及び認定こども園での24年の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業をを行う						
授業のねらい (到達目標)	様々な保育教材への理解を深める 子どもたちと楽しむために必要な技術を学び合う						
授業概要	あそび歌・科学あそび・伝承遊びグッズ制作など、色々な子どもとの遊びについて学ぶ 実際に子ども達と遊ぶ為の方法や配慮について年齢別に考えたり実践して見せ合ったりする						
テキスト	「すきま時間あそび107」&必要に応じてプリント						
授業計画	第1回	小麦粉粘土・スライム・科学あそび系を順次学ぶ 実際にやってみる中で配慮点など見つけていく					
	第2回	〃					
	第3回	保育グッズを作ったり使う際の練習をし、見せ合う					
	第4回	〃					
	第5回	〃					
	第6回	体操やダンスの振付をイラストで見て覚え、グループで練習をしマスターする					
	第7回	子どもたちへの教え方も考え、他グループに実際に教えて一緒にやってみる					
	第8回	作りたいパペットを決め パペット人形制作開始					
	第9回	制作					
	第10回	〃					
	第11回	完成したパペットでミニ人形劇					
	第12回	クリスマス関連のあそびとグッズ制作を楽しむ					
	第13回	伝承遊びを学ぶ					
	第14回	毛糸系など、子どもも出来る冬の制作を考える					
	第15回	〃					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						